



新春の決意を新たに

武道始め式

平成 29 年松浦市武道始め式が 1 月 9 日、武道館で開催されました。

式には、柔道・空手道・剣道・国際空手道・武術太極拳・少林寺拳法・なぎなたの 7 競技から選手や指導者など約 80 人が参加し、競技ごとに気迫のこもった演武が披露されました。

参加者を代表し、武術太極拳なかべつぶ そのこの中別府園子さんが、「私たちは健康のために太極拳を始めました。今年 1 年、けががなく元気に過ごすことが一番の目標です」と新年の抱負を述べました。



1年間の無病息災を願って

大般若

大般若の経典が入った箱の下をくぐって 1 年間の無病息災を祈願する「大般若だいほんにや」が、志佐地区と福島地区で行われました。

江戸時代、この地方に疫病が流行したとき、大般若経を祈とうして回り疫病が治まったことが始まりとされています。

志佐町里地区では 1 月 11 日、還暦と厄入りを迎えた地区住民らが重さ約 10^キの経典が入った箱を交代で担ぎ、地区内の約 200 戸を「だいほんにやー」と掛け声を掛けながら回りました。

地区の住民たちは、経箱の下をくぐって 1 年間の無病息災を願いました。



新春の福島路を駆け抜ける

福島町一周駅伝大会

第 63 回福島町一周駅伝大会が 1 月 8 日に開催され、8 区間 23.97^キで健脚を競いました。

今大会には、市内外から 18 チームが参加。福島港ふれあい広場前をスタートし、沿道の声援を受けながらたすきをつなぎました。上位の結果は、次の通りです。

【町内地区】

①鍋串 A 1 時間 29 分 28 秒

②日の浦 1 時間 37 分 46 秒

③播磨釜 1 時間 38 分 27 秒

【高校生】

①有田工業高校駅伝部

【オープン】

①松浦消防



見事命中！良い1年に

百手講

百手講が 1 月 8 日、志佐町庄野地区の王嶋神社で行われました。

この行事は、的に当たった矢の数で今年の豊凶を占うもので、市の無形民俗文化財に指定されています。

今年の射手は、山元次生つぎあさん（志佐・庄野、43 歳）と本山孝太郎こうたろうさん（志佐・庄野、32 歳）が務めました。2 人は烏帽子えぼしと狩衣かりぎぬ姿で約 10^ミ離れた場所から直径約 40^{センチ}の的をめがけて 50 本の矢を放ち、地区住民が見守る中、5 本が命中しました。



国内交流で北海道と長野県の暮らしを体験！

ホークス交流事業・生徒学習交流事業

◆ホークス交流事業

1月4日から9日にかけて市内小学校の児童5人が北海道鷹栖町を訪問しました。

今回は、志佐小の吉富ゆり子さん、藤原万葉さん、吉富まいさん、福島養源小の金子海さん、川浪雅君が参加しました。

鷹栖町では、ホームステイや雪中交流会、スキー体験などを通して鷹栖町の皆さんと交流を深めました。



◆生徒学習交流事業

1月13日から16日にかけて福島中学校の生徒4人が長野県木曾町を訪問しました。

今回は、永田悠紘君、吉田勘太君、山口柊矢君、川浪亮建君が参加しました。

木曾町では、歴史や文化を学ぶとともに、ホームステイ、スキーやそば打ち体験を通して木曾町の皆さんと交流を深めました。



後世に伝えたい伝統行事

上志佐小学校もぐら打ち体験

お正月の伝統行事である「もぐら打ち」の体験が1月16日、上志佐小学校で行われました。

この体験学習は、大畑利治さん(志佐・横辺田)が子どもたちに昔ながらの伝統行事を体験し、後世へ伝えてほしいとの思いから開催されました。

この日は、同小学校の1・2年生9人がもぐら打ちを体験しました。2年生の杉山楓さんは、「もぐら打ちは上志佐に昔から伝わる行事なので、しっかりと大切に伝えていきます」と、大畑さんへ感謝の言葉を述べました。



30年ぶりに復活！

前田地区もぐら打ち

御厨町前田地区青壮年会(田中良典会長)では、約30年ぶりにお正月の伝統行事である「もぐら打ち」を復活させようと1月14日、小学生や会員など約20人が集まり、地区内の約100戸を2班に分かれて回りました。

参加者たちは、玄関先で「舞い込んだー、舞い込んだー、福の神が舞い込んだー、お屋根の上には鶴が舞い、お家の前には亀がはう、お家繁盛もぐら打ち」など大きな掛け声を掛けながら、新わらと竹で作った約2mの「もぐら打ち棒」で家内安全と五穀豊穰を祈りながら力強くたたきました。

